

シグマ研究委員会核構造WGサブWG会合議事録

日 時 昭和56年2月19日(木) 9:30~

20日(金) 17:30

場 所 原研東海研究所 研2-322

出席者 宮野, 大矢(新潟大), 田村(原研)

議 事

1. A = 124 の分担

前回の会合ののち A = 124 の分担をつぎのようにきめた。

In, Sn 大 矢

Te 宮 野

Sb, I~Ce 田 村

2. Sn

主として ^{124}In (3.17 S), ^{124}In (2.4 S) の2つのアイソマーの崩壊データに関してファイルを作成し, GTOL によるレベルエネルギー, レベルフィードを計算した。

反応データについては, 旧ファイルに含まれているデータの見直しを行った。

3. Te

^{124}Sb (60.20 d) については E γ と I γ で極めて精度のよいデータが最近公表されている。旧ファイルのデータを修正し, GTOL, LOGFT の計算を行った。

^{124}I は旧ファイルがほぼそのままで採用できる。 ^{124}Te (n, n' γ) は新しいファイルを作成した。

反応データではクーロン励起で, いくつかの新しい文献があるほか, 新たに (3He, d) 反応のファイルを作成する必要がある。

4. Sb

これまでのレベルデータは, ほとんど ^{123}Sb (n, γ) 反応によるものであった。非常に精度な (n, γ) 反応のデータとそれを補完する (d, p) データが公表されたので, ほぼ全面的にファイルをつくりなおした。

GTOL でレベルエネルギーを求めたが、原論文の値とかなりよく一致するので、原論文の値で表示しておくことにした。

5. その他

In, I, Xe, Csについては個々のファイルを作成する必要がある。

Adopted levels, gammasについては個々の反応ファイルの作成後に行う。

6. 次回

4月上旬